

26. 血液腫瘍

○

○:専門とするがん △:グループ指定により対応しているがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり △:グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×:なし ○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日						各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	化学療法	移植			放射線療法			ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
				自家末梢血幹細胞移植	血縁者間同種造血幹細胞移植	非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移植	体外照射	全身照射			治療内容	治療実績	医師の専門分野
1 血液内科	3	3	状況 ○ 実績 あり	○	○	×	×	×	総谷内科血液内科では大学病院や血液内科を標榜する専門病院と同等のレベルの治療を行い、一方、個々の患者様とのコミュニケーションはそれ以上のものを保つように常に心がけている。また、原則として、疾患の種類や重症度で大学病院など他院に紹介する事は行わず、すべての血液疾患を本放射線治療は、眼に見えない放射線という物質を巧みに操ることで腫瘍性疾患を消滅・縮小させるものです。うまく使えば手術や化学療法以上に素晴らしい力を発揮します。もちろん欠点もありますから、他の治療との連携が非常に重要です。そして、患者さんの意識がある状態で行うことが多いので、患者さ	ア 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター http://www.onh.go.jp/intern/ketueki_g/haematological_disease.html イ http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり
2 放射線治療科	2	2	状況 × 実績 なし	×	×	×	○	○	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター http://www.onh.go.jp	掲載あり	掲載あり	掲載あり	
3			状況 実績						ア http:// イ http://				
4			状況 実績						ア http:// イ http://				
5			状況 実績						ア http:// イ http://				

グループ指定を受ける施設との連携状況
 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること

例:急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫
 昨年の治療実績ありの疾患名
 ※平成25年1月1日~12月31日
 急性白血病、慢性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群